1枚目｜先生に渡すお手紙

三者面談 先生へのお手紙シート

見出しとヒントにそって書くと、先生へのお手紙になります。面談のときに、そのまま先生へ渡せます。

＿＿＿＿＿＿＿＿ 中学校　＿＿＿ 年 ＿＿＿ 組　担任 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 先生

いつも ＿＿＿＿＿＿＿＿ がお世話になっております。三者面談を前に、これまでの様子と、家庭で考えている進路についてお伝えしたく、お手紙を書きました。

1 これまでの歩み

小学校のころの様子／できるようになったこと／がんばってきたこと（例：小学生のころは登校をためらう日が多かったが、中学では部活動を最後までやり遂げた。苦手だった計算にも取り組み、因数分解が解けるようになった）

2 進路について

第一志望と選んだ理由／あわせて考えている学校や受験の方法（推薦・自己推薦・併願など）

第一志望　（ 公立 ・ 私立 ）

選んだ理由

あわせて考えている学校・受験の方法

3 子どもが乗り越えてきたこと・いいところ

つらい時期をどう乗り越えたか／いま、どんなことに力を出せているか（推薦を考えている場合は、その理由にもなります）

4 最近の気持ちと様子

受験を前にした不安／学校での様子の変化（交流学級に行きづらい、登校がつらい など）／本人が口にしていること

5 これからの連携

連絡のとりやすい方法 ☐ 電話　☐ 連絡帳　☐ メール　時間帯：＿＿＿＿＿＿

☐ 面談のほかにも、学校で話せる時間がほしい

先生と共有したいこと

このお手紙を、支援学級の先生をはじめ、子どもに関わってくださっている先生方と

（ 共有してほしい ・ 共有しないでほしい ） ← どちらかに○

先生方と同じ方向を向いて、子どもの受験を支えていきたいと考えています。

令和 ＿＿＿ 年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日　保護者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿　連絡先 ＿＿＿＿＿＿＿＿

© 2026 株式会社ステップ

2枚目｜手もとに残すシート

先生に聞くことチェックリスト

聞きたい項目に ✓ をつけて面談に持っていきます。先生の答えは右のメモ欄へ。

面談日：＿＿＿＿＿＿

	先生の答え・メモ
A 推薦入試・自己推薦	
☐ 推薦を受けるための条件は？（評定・出席日数・活動の実績など）	
☐ 校内選考はあるか。あるなら、いつ決まるか	
☐ 自己推薦で受けられる学校はあるか。手続きと書類の流れは	
☐ 推薦で不合格だった場合、そのあとの受験はどう進むか	
B 内申と出席日数	
☐ いまの内申（評定）は、志望校に対してどのくらいの位置か	
☐ 欠席日数は、志望校の合否にどう影響するか	
☐ 別室登校や支援学級で過ごした日は、どう扱われるか	
☐ 欠席が多い事情を、入試で伝える方法はあるか	
C 私立の専願・併願	
☐ 専願と併願で、合格の目安はどう違うか	
☐ 今年、志望校の志願者は増えているか	
☐ 併願先として、ほかにどの学校が考えられるか	
D 定時制・通信制などの選択肢	
☐ 本人に合いそうな定時制・通信制・単位制の学校はあるか	
☐ 見学や説明会、出願の時期はいつか	
E 入試での配慮	
☐ 別室受験・時間の延長・問題用紙の拡大などの配慮を申請できるか	
☐ 申請はだれに相談し、締め切りはいつか	
☐ 診断書や意見書などの書類は必要か	
F これからの予定	
☐ 出願の締め切りと、願書の準備で家庭がすること	
☐ 次に先生と話せるのはいつか	

そのほか聞きたいこと・面談で言われたこと

面談のあと、言われたことをどう受け止めればいいか迷ったときは、
ステップでも一緒に整理できます。

step-brains.com/contact

© 2026 株式会社ステップ